

同窓会報「東鷹～かけはし～」創刊のご挨拶



東鷹同窓会会長
安蘇龍生
(昭和33年卒)

全国の東鷹同窓会会員各位には、益々ご清祥のことと心からお慶び申し上げます。私たちの母校東鷹高等学校は、全日制県立移管八十周年、定時制本校移管五十周年の節目にあたり、昨秋盛大に記念式典、祝賀行事が挙行され、更なる発展に向かって新しい一歩を進めております。昨秋の定期総会におきまして、同窓会館及び跡地記念碑建立等数々の偉大な功績を残された原吉徳会長が勇退され、不肖私が大役を仰せつかることになりました。微力ながら役員各位と協働し、会員の皆様と手を携え、母校の発展と同窓会の繁栄に全力を尽くす所存です。どうか会員並びに関係各位のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

さて、昨秋の三十七期定期総会で

六つの事業計画が議決され、その事業推進に鋭意努力を致しております。その柱のひとつが同窓会活動のIT化であります。本部、支部、会員相互がネットを通して情報を発信、意見の交換を行い、お互いの距離を縮め、絆を一層強めることによって、活力ある同窓会活動を実現したいと考えています。IT事業の一環としてHPを開設し、HP上に同窓会報「東鷹～かけはし～」を創刊、掲載することといたしました。会員の皆様のご意見を承り、情報交換と併せて趣味や俳諧等々多彩なコーナーを設け、内容の充実を図りたいと思っておりますので積極的なご投稿をお待ちしています。実は三十一年前（一九七六年）にも、当時の藤井賢治同窓会長の手で「東鷹会新聞」が発行されています。定期的に発刊したい意向でしたが、財政基盤が軟弱な為、残念ながら継続出来なかったようです。今回はHP上の掲載で財政負担が少ないので、ぜひ定期刊行をしたいと願っています。HPの立ち上げについては、昭和六十一年卒の長野治郎君に努力してもらいました。至る所に彼の工夫が見られ、特にミュージアム（博物館）は内容豊富で、十分楽

しめる内容になっていると思えます。本部事務局は情報技術に疎い者ばかりですので更新その他については今後とも彼に迷惑をかけることになりません。会員諸氏の中で技能をお持ちの方がおられたら、HPだけでなくIT事業の推進にもお力を貸していただきたいと思います。ご連絡をお待ちしています。全国の東鷹同窓会会員各位の益々のご健勝ご活躍を祈念し、同窓会報「東鷹～かけはし～」創刊（再刊）のご挨拶といたします。

